

世界に目を向けよう～今、私たちにできること～

定期学習会の記録

2006/12/16 尾間木公民館

[参加者] 金子 三浦 安藤 福島 北野 大内

■歴史を学ぼう・第二次世界大戦（北野） ★資料

- ・同じ人がやったこと。ある人の気持ちが、動かしていく。
- ・原爆の話
- ・中国の話

■ビデオ・世界子ども白書2005「危機に晒される子どもたち」(unicef)

(主な内容)

- ・だまされて、売春婦にさせられた少女
- ・「こどもたちは、何度も売ることのできる魅力的な商品」
- ・それを助け、自立支援している人
- ・発展途上国の子どもたち
- ・貧困のため、慢性的な栄養不良・5歳まで生きられないなど。
- ・イラクのテロ被害
- ・学校の破壊、通学にも危険がつきまとう
- ・暴力の横行と治安悪化
- ・紛争によって、子どもたちが暴力を目の当たりにし、また、軍に使われている子どもたちも多くいる。
- ・子どもたちは、保護されることなく、紛争の犠牲になっている。
- ・復興の時、話題の中心から子どものことが忘れられている。
- ・エイズで親を亡くした子どもたち 1500万人
- ・問題は、これから大きくなる。
- ・孤児だけでなく、親の世話、死への直面、守ってくれる家族を失うことなど。
- ・学校へいけない、精神的苦痛、差別など。

■今年のまとめ

○イベント終了後

- ・アジアを中心に、歴史を学んだ。
- ・産業革命～日清・日露戦争、世界大戦まで
- ・歴史を学ぶことによって、人々の気持ち、どういう思いをしたのかがわかった。これから、どうしたらよいのかと考えることができた。
- ・今の世界が、過去のどういう歴史のもとに成り立っているのかということを知ることができた。
- ・地雷の埋まっている場所に、実際に言った方の話を聞くことができ、貴重な知識を得ることができた。
- ・知らないことをたくさん知ることができ、びっくりしたり、衝撃をうけたり。
- ・頭も心もおなかも満足。

■ その他連絡

- ・ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金（全国一斉街頭募金）
2006年12月23日(土)
10:00～浦和駅西口 福島、大内

□ 次回予定

2007/01/20 18:00～尾間木公民館